

私のキャンパスライフ

高校の時にはなかったこと

私が大学に入って楽しいと感じることは、学生寮での生活です。大学の敷地に隣接する学生寮にはさまざまな都道府県出身の人や自分と違う学部学科の人がたくさん集まっています。学生寮で過ごしていなければ出会っていないであろう人たちと関わることができてとても楽しいです。私は、学生寮で仲良くなった子と一緒にごはんを作ったり、共用スペースでおしゃべりをしたりしながら過ごしています。また、母子家庭支援施設の子どもたちと遊ぶボランティアサークルに所属しています。普段は同世代や年長者と関わる機会の方が多く、子どもたちと遊ぶ機会は中々ないため、子どもたちと一緒に全力で遊ぶのはとても楽しいです。

私の受験エピソード

友達と毎日学校が閉まるまで残って勉強

私は自宅に帰ってしまうとあまり集中できないタイプだったので、毎日放課後は学校に残って勉強していました。家だとすぐにスマホを見てしまいがちでしたが、私の学校は校内でのスマホの使用が禁止されていたので勉強に集中できる環境に身を置くことができました。友達と教室で勉強することで自分の集中が切れてしまっても、友達が頑張っている姿を見て自分ももう少し頑張ろうという気になり、よい刺激になりました。また、問題を解いていてわからないところがあっても、先生方に質問ができてよかったです。先生方も応援してくださりととても励みになりました。

私の学科の学び、ココが楽しい!

今までとは違う英語学修、自分で発見する楽しさ

英文学科では高校までの英語学習よりも、さらに深いところまで学ぶことができます。特に英語学の授業では、これまで文法として当たり前に覚えてきた英語の構造を科学的に分析します。その根拠が解明された時のスッキリ感はたまりません。より英語が好きになります。そして、必修授業ではコミュニケーションのクラスがあります。2回生の前期にある「Integrated Communication Skills1」という授業では映画『CASABLANCA』を暗記して、ロールプレイをしました。授業の前に友達と一生懸命練習したのがとても楽しかったです。

京女の先生ってこんな人!

ステキな先生に出会うことができます

研究熱心で真面目で堅そうな一面とは裏腹に、授業ではユーモアたっぷりに話してくれる先生が多いです。授業中に先生が雑学を披露して下さることもあります。確実にいえるのはどの先生も優しく、親身になって私たちの学びをサポートしてくれるということです。先生と学生との距離が近いのでわからないことがあれば、すぐに聞ける環境です。授業は理解度を確かめながら行われることが多いので、置いていかれることはありませんし、先生自ら授業アンケートを取り、私たちの意見を聞きながら授業を進めてくださいます。

私の学科の学び、ココが楽しい!

英語について幅広くそして深く学べます!

英語でネイティブスピーカーの先生とお話ししたり、アメリカ・イギリス文学、英米映画、ジェンダー・異文化理解、英文法、英語音声学、通訳・翻訳論、観光、エアライン英語など…ここでは書ききれないくらいの英語の分野について学ぶことができます。「英語は得意じゃないけど好き!」「大学で何か英語について学びたい」「将来英語を使う仕事に就きたい」など英語に少しでも興味があれば、明確な理由がないまま入学しても必ず自分だけの「好き」を見つけ、それを探求することができる学科です。

京女の先生ってこんな人

自分のことのように熱心に考えてくれます!

京女の先生方は授業でも学生からの要望があれば、実現できるように取り組んでくださいます。先生と学生の距離が近いので、特にゼミなどの少人数の授業では気軽に相談がしやすく、的確なアドバイスがもらえます。また授業の先生だけでなく、就職についても進路・就職課やキャリア開発センターの方が優しく丁寧に一人ひとりに合った支援をして下さるので、卒業後の進路も自分にベストな選択をすることができます。京女には、何か困った時にすぐに相談できる人や場所がたくさんあるので、居心地の良い学生生活を送ることができると思います!

私の卒業論文

『A Queer Reading of the Lyrics
by Utada Hikaru and Rina Sawayama』

曲の歌詞をLGBTQの視点から解釈し直すことで、曲の意味が大きく変化する可能性を探りました。異性愛者の恋愛ソングに思われる歌詞を見直して、曲の登場人物が同性愛者であれば曲の物語がどのように変化するのかを研究します。言葉やミュージックビデオを何度も吟味しました。ここでは、大学の授業で得たクィア※批評の知識や、ゼミで学んだ物語を違う切り口で見る視点の変化が生かされました。

※性的マイノリティーのこと

高校時代にやっておいた方がいいと思うこと

<勉強面>

(英語) 大学受験のみならずそれ以降も使えるように、長文中で出会った知らない英単語は意味と語法を調べて、インプットすることに力をいれました。英語は大学受験が終わっても、授業や就職先で使う機会が必ずあるので、苦手意識の克服と継続的な学習が後に役立ちます。

(全体的なこと) 高校時代に養った集中力は、大学入学以降の授業や課題をこなす時に必要になります。大学生になると、自分で時間管理を行いながらやるべきことを処理していく必要があるため、計画性と集中力を身につけておくのと良いです。

<生活>

目の前の行事を思いっきり楽しんでください!高校時代、行事ごとにパーティーをしたりプリクラを撮ったりなど、今でも鮮明に蘇る記憶はとてもキラキラしています。二度と戻れない「高校生」だからこそできることがたくさんあると思います。学校では、勉強に部活などと忙しく、また代わり映えしない毎日を退屈に感じる時もあるかもしれませんが、そんな時間に何気なく頭の中で考えていた内容をぜひ覚えていてほしいです。数年後、「そういえば、あの授業中にこんなことを考えていたな」と友達と共有し合って懐かしむ日が必ず来ます。(私自身、実際に友達と授業風景や席順を思い出して、懐かしい高校生活の話でよく盛り上がっています(笑)。)